

## 平成17年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブ 教育プログラム及び審査結果の概要

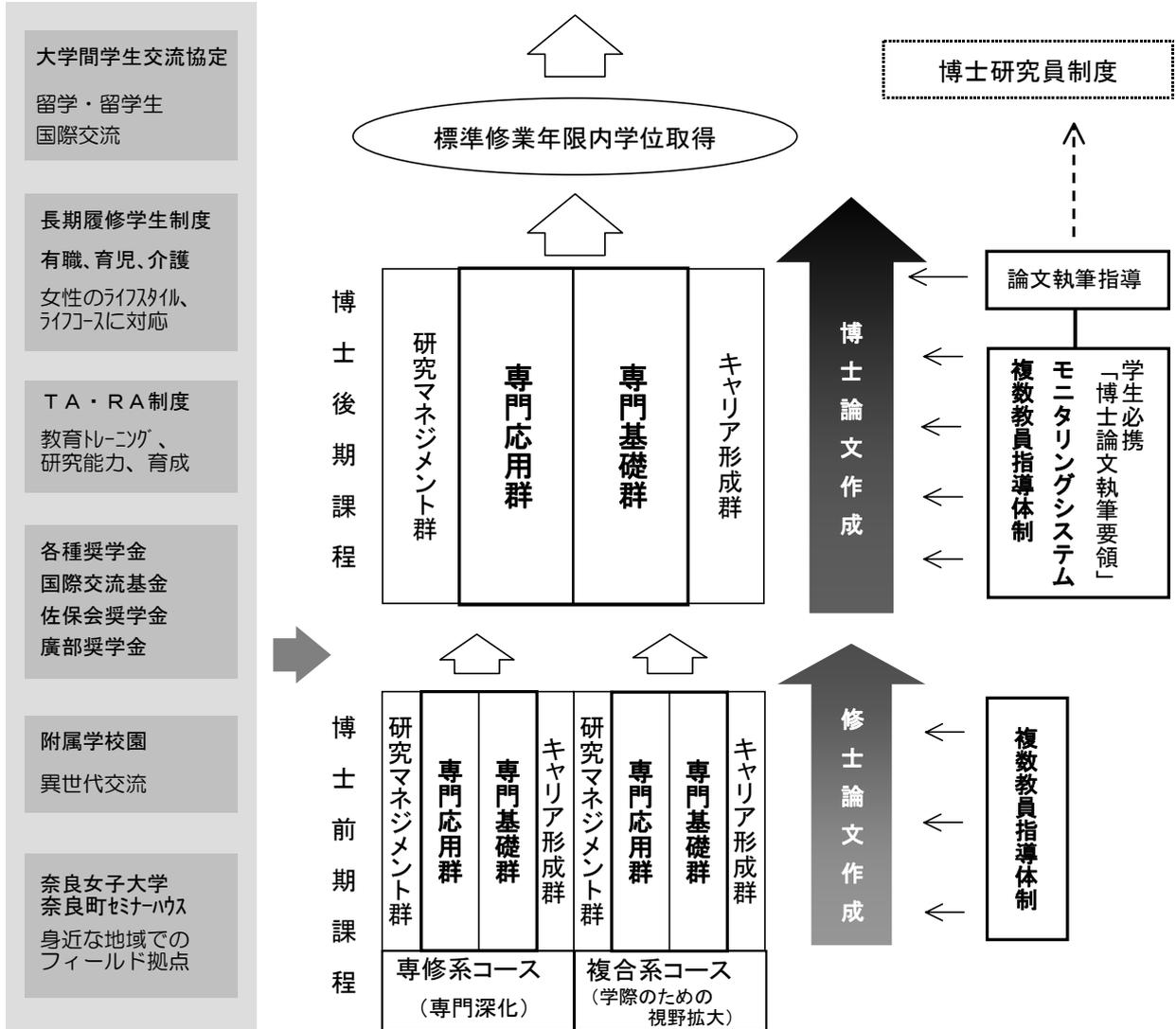
◇「1.申請分野(系)」～「6.履修プロセスの概念図」:大学からの計画調書(平成17年7月現在)を抜粋

<b>機 関 名</b>	奈良女子大学	<b>整理番号</b>	a023
1. 申請分野(系)	人社系		
2. 教育プログラムの名称	生活環境の課題発見・解決型女性研究者養成		
3. 関連研究分野(分科)  (細目・キーワード)	主なものを左から順番に記入(3つ以内) 生活科学、社会学、教育学		
	主なものを左から順番に記入(5つ以内) (生活環境、生活様式、地域計画、地域構造・地域システム、文化・社会意識)		
4. 研究科・専攻名 及び研究科長名 ( [ ]書きで課程区分を記入、 複数の専攻で申請する場合は、 全ての研究科・専攻を記入)	(主たる研究科・専攻名)		<b>研究科長(取組代表者)の氏名</b> 矢野 重信
	人間文化研究科・人間環境学専攻[博士前期課程] 人間文化研究科・社会生活環境学専攻[博士後期課程]		
	(その他関連する研究科・専攻名) 人間文化研究科・国際社会文化学専攻、人間行動科学専攻[博士前期課程]		
<b>5. 本事業の全体像</b>			
5-(1) 本事業の大学全体としての位置付け(教育研究活動の充実を図るための支援・措置について)			
<p>本学は、理念の第一に「男女共同参画社会をリードする人材育成－女性の能力発現をはかり情報発信する大学－」を掲げている。近年、女性の社会進出は目覚ましいが、高度な専門性をもつ活力ある女性人材育成は、今なお喫緊の課題である。本学の大学院人間文化研究科では、高度な専門教育を提供することにより、国際的にも活躍できる女性の研究者あるいは高度専門職業人の育成を図ってきた。本プログラムは、「人間文化研究科・社会生活環境学専攻」を中心に、関連科目を5つの群に分け、大学院教育とフィールド活動との連関の下で、大学院生自らが、生活環境に関わる課題を発見し、それを解決できる研究遂行能力を培い、自立した女性研究者を育成しようとするものであり、大学として全面的に支援していく。</p>			

機 関 名	奈良女子大学	整理番号	a023
5-(2) これまでの教育研究活動の状況(現在まで行ってきた教育取組について)			
<p>本学大学院は区分制であり、学部との連続性を考慮して博士前期課程が形成され、その諸学問の融合を目指して、学際的な博士後期課程が設置された。現在までの教育活動としては、①学部から博士後期課程への接続を円滑に行うことを目的とした、前期課程における<u>専修系コースと複合系コース</u>の設置(H10年度)とその改善(H16年度)、②複数の教員が論文指導にあたる「<u>複数教員による指導体制</u>」の導入、③大学院生の指導状況に関する指導教員からの<u>現況報告書の提出</u>、④専攻長等が大学院生指導状況の問題点の有無を把握し、プロセス管理を行うための<u>モニタリングシステム制</u>の導入(H16年度)、⑤『博士課程論文執筆要領』の作成による<u>学位授与プロセスの標準化と明確化</u>(H8年度)、⑥<u>TA、RA制度、長期履修学生制度</u>(H16年度)、<u>博士研究員制度</u>(H17年度)、<u>各種奨学金制度</u>などによる学生支援を行ってきた。つまり教育課程に対する履修指導と研究指導、学生支援が三位一体となり、多様かつ有能な人材を数多く生み出してきた。</p>			
5-(3) 魅力ある大学院教育への取組・計画(大学院教育の実質化(教育の課程の組織的展開の強化)のための具体的な教育取組及び意欲的・独創的な教育プログラムへの発展的展開のための計画について)			
<p>本教育プロジェクトの目的は、生活の場であるフィールドの中から、<u>自ら主体的に、生活環境に関わる課題を発見</u>して、その<u>課題を解決</u>し、質の高い生活を支える<u>生活環境を構築</u>することに資する創造性豊かで自立した<u>女性研究者を養成</u>することにある。<u>標準修業年限内での博士論文の提出、学位取得を可能にするため、社会生活環境学専攻では、①前期・後期両課程を通して、コースワークの観点から教育課程の体系化・実質化を図るとともに、②前期課程における「専修系コース／複合系コース」という履修制度を有効活用する。</u></p>			
<p><u>本教育プログラムの最大の特徴は、修士論文や博士論文の作成に向けて、コースワークを充実させ、強化した点である。</u>従来から、本専攻で行われてきた専門科目を【<u>専門基礎群</u>】、【<u>専門応用群</u>】、【<u>論文作成</u>】に分類して科目の位置付けを明確化し、さらに研究者養成をサポートするために【<u>研究マネジメント群</u>】と【<u>キャリア形成群</u>】という2つの科目群を新たに設けた。【<u>研究マネジメント群</u>】では、研究のための課題発見・課題解決に関わる一連の研究能力を培うことを目的とし、【<u>キャリア形成群</u>】では、即戦力となるスキルや実践的な能力を育成すること目的としている。このように、<u>授業科目を、5つの群に別けて組織化することにより、履修指導体制を確立するとともに研究指導体制を明確にし、生活環境にかかわる課題発見・課題解決型の質の高い研究を遂行できる、創造性豊かな自立した女性研究者の養成を目指す。</u></p>			

6. 履修プロセスの概念図

生活環境の課題発見・解決型女性研究者養成



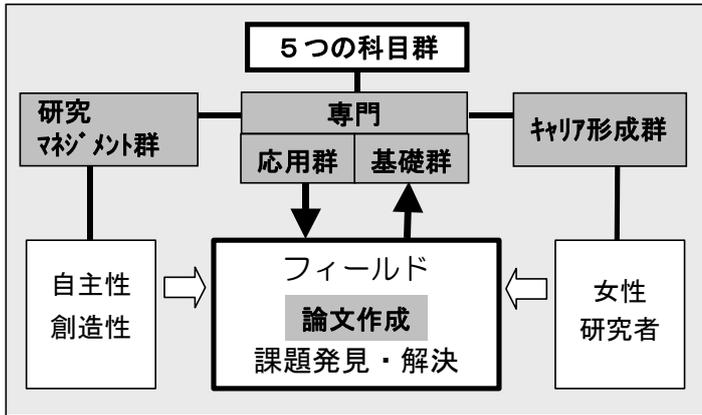
研究教育支援環境

履修指導体制

研究指導体制

博士後期課程の学際融合研究分野への対応

博士前期課程  
2つの履修コース：専修系と複合系



機 関 名	奈良女子大学	整理番号	a023
<p data-bbox="165 199 588 232">&lt; 審査結果の概要及び採択理由 &gt;</p> <p data-bbox="165 295 1428 472">「魅力ある大学院教育」イニシアティブは、現代社会の新たなニーズに応えられる創造性豊かな若手研究者の養成機能の強化を図るため、大学院における意欲的かつ独創的な研究者養成に関する教育取組に対し重点的な支援を行うことにより、大学院教育の実質化（教育の課程の組織的な展開の強化）を推進することを目的としています。</p> <p data-bbox="189 488 491 521">本事業の趣旨に照らし、</p> <p data-bbox="189 535 1428 613">①大学院教育の実質化のための具体的な教育取組の方策が確立又は今後展開されることが期待できるものとなっているか</p> <p data-bbox="189 629 1225 663">②意欲的・独創的な教育プログラムへの発展的展開のための計画となっているか</p> <p data-bbox="165 678 1428 855">の2つの視点に基づき審査を行った結果、当該教育プログラムに係る所見は、大学院教育の実質化のための各項目の方策が非常に優れており、十分期待できるとともに、教育プログラムが事業の趣旨に適合しており、その実現性、一定の成果と今後の展開の面も期待できると判断され、採択となりました。</p> <p data-bbox="189 871 1206 904">なお、特に優れた点、改善を要する点等については、以下の点があげられます。</p> <p data-bbox="177 967 635 1001">〔特に優れた点、改善を要する点等〕</p> <ul data-bbox="165 1016 1428 1285" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="165 1016 1428 1193">・人文科学・社会科学・工学を融合した生活科学という視点からの研究、また、研究キャリア・サポート科目として、マネジメント群とキャリア形成群を配置しているところに独創性が見られ、単に論文作成指導に終わらせることなく、研究者・大学教員としての資質も養成しようという点で、コースワークの教育効果が期待される。</li> <li data-bbox="165 1209 1428 1285">・意欲的な科目設定の効果を問う評価の視点や、学位論文作成の指導のプロセス、FD（教育内容・方法等の組織的な研究・研修）などの具体化について、更なる工夫が望まれる。</li> </ul>			